

営農情報(令和7年11月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

■温州みかん

本年は、梅雨明けが早く以後の異常な高気温と干ばつにより果実肥大は抑制され、8月上旬以降の降雨により取り戻しているものの平年よりやや小玉となっています。早生系においては、日焼け果の発生が多くなっていることから、出荷時にはしっかり選別を行いましょう。

◇収穫

- ・着色の進んだ果実から始め、分割して収穫する。
- ・貯蔵する果実は次の対策を徹底する。
 - ①収穫前の薬剤散布を確実に行うこと。
 - ②果実にハサミ傷等をつけないよう丁寧に扱うこと。
 - ③雨露を避け、天候が良好な日に収穫すること。
 - ④コンテナ等収穫用具類は、洗浄等で清潔にしておくこと。

| 時期 | 対象病害虫 | 薬剤名 | 希釈倍数 | 収穫前日数 | 使用回数 |
|-----|------------------------------------|-------------|-----------|-------|-------|
| 発生時 | カメムシ類 | スタークル(顆水) | 2,000 | 前日 | 3回以内 |
| | | ロディー(乳) | 2,000 | 7日 | 4回 // |
| 発生時 | ミカンハダニ | ダニオーテ(フ) | 3,000 | 前日 | 1回 |
| | | オマイト(水) | 750 | 7日 | 2回以内 |
| 収穫前 | 貯蔵病害 ^{注1)2)3)4)} (固着剤) | バルコート(フ)加用 | 2,000 | 前日 | 3回 // |
| | | ベンレート(水)または | 4,000 | 前日 | 4回 // |
| | | トップジンM(水) | 2000 | 前日 | 5回 // |
| | | (アビオン-E) | 500~1,000 | — | — |

注1) アビオン→バルコート→ベンレートまたはトップジンM の順に溶かす。

注2) ベンレートとトップジンは併用しない。

注3) 薬液が霧状になるノズルを使用し、果実中心に散布する。

注4) 散布後100mm以上の降雨があった場合は再散布する。

■うめ

- ・冬季剪定は11~12月の休眠期間中に行う。
- ・施肥は、11月上旬~12月上旬に窒素成分で6kg/10a 施用する。(例:ニュー梅配合=50kg)
- ・休眠期に苦土石灰100kg/10aを施用する。

■キウイフルーツ

◇収穫

- ・収穫前には貯蔵病害(灰色かび病)防除を必ず行う。
- ・収穫は、11月上中旬が適期になるので遅れないようにする。
- ・早期軟化や腐敗を予防するため、丁寧に扱う。収穫後は24時間以内に冷蔵貯蔵する。

| 時期 | 対象病害虫 | 薬剤名 | 希釈倍数 | 収穫前日数 | 使用回数 |
|-----|-------|----------|-------|-------|------|
| 収穫前 | 貯蔵病害 | ロブラール(水) | 1,500 | 前日 | 4回以内 |

■タマネギ

◇定植準備

- ・定植の目安 (早生=11月上旬、中生=11月中旬、晩生=11月中下旬)
- ・堆肥または発酵鶏ふん、苦土石灰、BMようりんなどの土壌改良資材を植付2週間前までに全面施用し、よくなじませる。発酵鶏糞を施用したら減肥する。
- ・元肥は、定植1週間前に全層に施用する(例:S555=60kg)。

◇植付け

- ・理想的な苗姿は、根元の太さ6mm程度、草丈25cm程度。
- ・根が深く張るため、露出しないよう2~3cmの深さに植えつけ、十分に灌水しておく。
- ・株間は10~13cm程度とする。
- ・定植後、雑草防除のためトレファノサイド粒剤2.5またはゴーゴーサン細粒剤Fを散布する。

■なのはな

◇摘芯

・側枝の生育を揃え、安定した収量を確保するために、頂花蕾が見えかけたら摘芯する。

◇施肥

・地温が下がると肥料の効きが鈍くなるので、早め早めに追肥を行う。
 ・追肥は、適当な水分がないと根から吸収できないので、土壌が乾燥したら灌水する。

| | 対象病害虫 | 薬剤名 | 希釈倍数 | 収穫前日数 | 使用回数 |
|-----------------|-------------|----------------|-------|-------|-------|
| なのはな* (なばな類) | アブラムシ | スタークル(顆)または | 3,000 | 3日前 | 2回以内 |
| | | パダンSG(水溶)または | 1,500 | 7日前 | 3回 // |
| | | トランスフォーム(フ) | 2,000 | 前日 | 3回 // |
| | コナガ・ハスモンヨトウ | アフーム(乳)または | 1,000 | 7日前 | 2回 // |
| | | ディアナSC | 2,500 | 前日 | 2回 // |
| | 黒腐病・軟腐病 | カスミンボルドー(水)または | 1,000 | 14日前 | 3回 // |
| | コサイド3000(水) | 2,000 | — | — | |

※非結球あぶらな科葉菜類に登録がある農薬は、なのはなに使用できません。

※農薬ラベルには「なのはな」ではなく「なばな類」と記載されています。

【トピックス】

■ゴマダラカミキリの買取りの推移

下図は、平成27年度以降のゴマダラカミキリの買取り実績の推移です。

グラフを見れば分かる通り、平成29年にピークを迎え、年々減少傾向にあります。

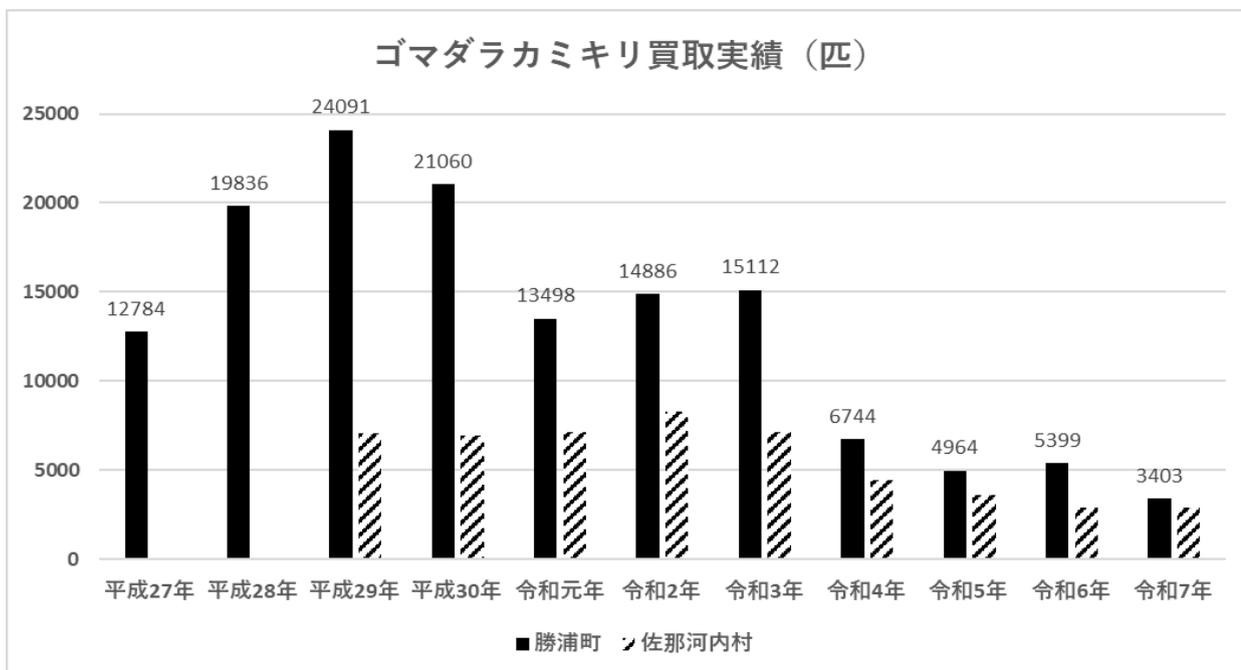
令和7年の実績は、ピーク時の平成29年比で14%に減っています。

買取りをしても、6月に持ってくる人や大量に持ち込む人が減少していると感じます。

特に令和4年から著しく減っており、同様に50円/匹で買取している佐那河内でも同じ傾向です。愛媛県や和歌山県でも同様に減っているとの話をききますので、全国的な傾向のように感じます。

どうしてカミキリが減ったのかについては、近年の酷暑の影響や、スプラサイドが製造中止になって農薬が変わった影響など、いろいろな説はありますが、明確な原因は分かっていません。

町としては、引き続きカミキリの買取りは続けますが、6月の買取りは中止して、7月と8月の2回の買取りに変更したいと考えています。



<お問い合わせ先>

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA農業振興戦略実践課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768